

大和郡山市地域公共交通計画の基本理念：『公共交通の輪でつなぐ みんなの元気城下町』

1. 計画の策定について

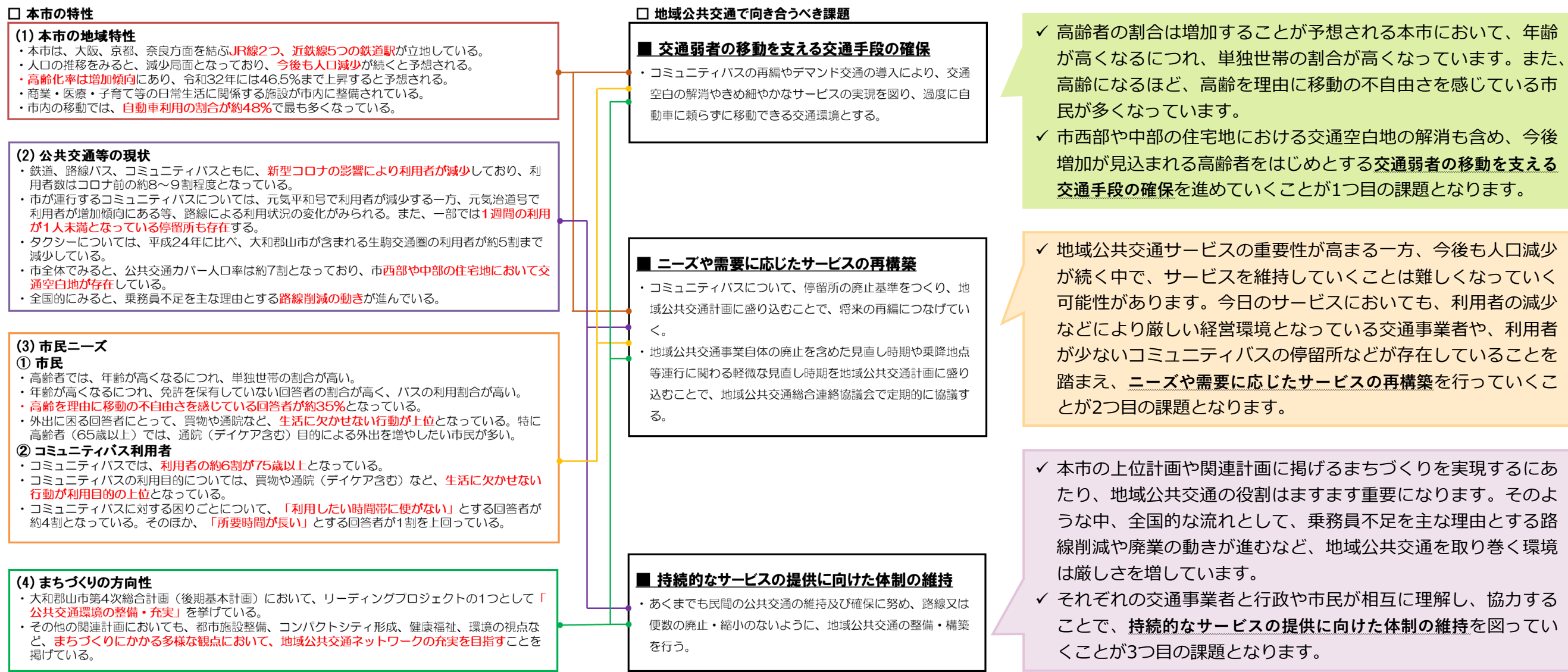
1.1 計画策定の背景と目的

- ◆ 本市では、まちづくりの根幹として非常に重要な役割を担う交通について、効率的・効果的な都市交通施策を体系的・具体的に取りまとめた**大和郡山市総合交通戦略を令和元年度（2019年度）に策定**し、本市が抱える交通課題の解決に努めているところです。
- ◆ その後、**少子高齢化の進展やライフスタイルの変化**など、地域公共交通を取り巻く環境やニーズが大きく変化しました。その結果、全国各地で**地域公共交通サービスの持続が危ぶまれる**ようになっていきます。
- ◆ そこで、本市の地域の実情や、地域公共交通における現状を踏まえ、**将来にわたって持続可能な地域公共交通ネットワークの再構築・再整理**することを目的として、『**大和郡山市地域公共交通計画**』を新たに策定することとします。

1.2 計画の概要

- (1) 位置づけ
  - ◆ 本計画は、大和郡山市総合計画を上位計画として、他分野の計画との整合を図りながら策定します。また、交通分野の先行計画である大和郡山市総合交通戦略の内容を踏まえたものとしします。
- (2) 目標年次(計画期間)
  - ◆ 本計画は、計画期間を**令和8年度（2026年度）から令和12年度（2030年度）**までとします。
  - ◆ なお、計画期間中においても、実証運行の結果等を踏まえ、計画の進捗状況の検証を適宜実施し、必要に応じて計画の改定を行うものとしします。

2. 地域公共交通を取り巻く課題



# 大和郡山市地域公共交通計画

## 3. 基本方針と事業

太字:リーディングプロジェクト、★:利便増進実施計画への位置づけを図るもの

### 基本方針Ⅰ 「コンパクトプラスネットワーク」による地域づくりを実現する拠点整備及びネットワーク構築の一体的な推進

<b>考え方</b>	本市における地域公共交通ネットワークの維持・強化にあたっては、 <b>全市的な上位・関連計画を取り入れたもの</b> とします。また、別途取り組みが進められているまちづくりの基本構想などの <b>拠点整備の動きと一体性を持った計画</b> とします。	<b>事業</b>	I-1 近鉄郡山駅舎の移設 I-2 近鉄郡山駅前広場の整備 I-3 近鉄平端駅前広場の整備 I-4 <b>鉄道駅を中心とした路線バス・コミュニティバス路線の再構築★</b> I-5 バリアフリーに対応した誘導案内施設等の充実 I-6 観光来訪者に対応した新たな交通ネットワーク、サービスの構築	<b>目標</b>	人口減少が予測される中で、現在の地域公共交通網を維持するため、 <b>各公共交通の利用者数を維持</b> します。
------------	---	-----------	---	-----------	---

### 基本方針Ⅱ 既存公共交通機関の維持・強化につながるサービス体系の整備

<b>考え方</b>	本市の地域公共交通を考えるうえでは、民間事業者による <b>既存の地域公共交通機関を維持していくことが前提であり、最も重要</b> となります。今後、より厳しい経営環境になっていくことが予想されますが、これら地域公共交通網を支えることを基本姿勢として、 <b>適切な役割分担のもと、充実を図っていく</b> ことを基本とします。	<b>事業</b>	II-1 <b>鉄道駅を中心とした路線バス・コミュニティバス路線の再構築（再掲）★</b> II-2 自動継続型金額式ICカード定期券「CI-CA plus」の利用促進 II-3 バリアフリー車両の導入 II-4 ユニバーサルデザイン車両によるタクシーの導入 II-5 <b>バス・タクシーの運転手の確保</b> II-6 リニア中間駅の設置に向けた誘致活動の推進 II-7 デジタル技術を活用した新たな交通サービスの導入	<b>目標</b>	地域公共交通サービスやネットワークの基盤となる <b>事業者数や系統数を維持</b> することを前提とします。
------------	--	-----------	---	-----------	---

### 基本方針Ⅲ 地域や民間活力を生かしつつ、行政が補完する階層的な公共交通サービスの整備

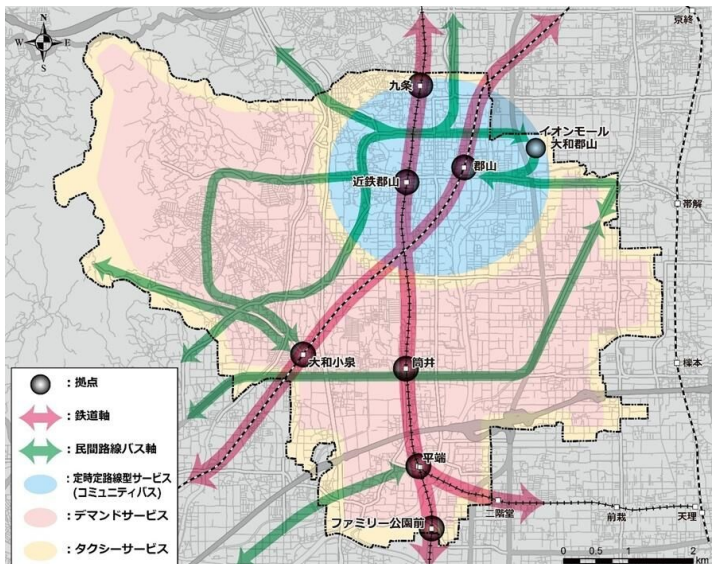
<b>考え方</b>	鉄道・バス・タクシーなどの既存の地域公共交通サービスを利用できない交通弱者に対して、 <b>地域のボランティア等支えあい</b> などの活力（自主的取組）を重視することを基本としつつ、 <b>なお支え切れないニーズや需要には、競合しない範囲で行政主体のサービスで補完</b> していくことを基本姿勢とします。	<b>事業</b>	III-1 <b>コミュニティバスの再編★</b> III-2 <b>デマンドタクシーの導入★</b> III-3 <b>路線バスへの支援又は代替</b> III-4 福祉的な視点に基づいた地域の支え合いによる「お出かけ支援」の推進 III-5 NPO等が実施する福祉有償運送サービスの活用	<b>目標</b>	既存の地域公共交通とともに、行政が補完する公共交通サービスによって、 <b>交通空白地とされるエリア0</b> を目指します。また、運行に係る <b>公的資金投入額については、現行レベルの維持</b> を基本とします。
------------	--	-----------	---	-----------	---

### 基本方針Ⅳ 地域と取り組む次世代の地域公共交通ネットワークづくりの推進

<b>考え方</b>	地域公共交通が有効に活用されていくためには、地域の理解・積極的な関与を通して、 <b>機運醸成が不可欠</b> と考えます。本市においても、本計画を通じて、地域の移動手段を一緒に考え、一緒に作り上げ（生み出す）、一緒に活用する体制を構築することで <b>次世代につなぐ地域公共交通ネットワークづくり</b> を目指すものとします。	<b>事業</b>	IV-1 <b>廃止・見直しルールに基づいたコミュニティバス、デマンドタクシーの運行★</b> IV-2 環境にやさしい交通手段選択への意識醸成の推進 IV-3 学校での公共交通の学習機会の拡大 IV-4 運転免許証を返納しやすい環境の整備 IV-5 病院通院者に対する利用促進策の実施 IV-6 オープンデータ化による住民周知	<b>目標</b>	運行に関する経費の上昇なども見込まれる中、利用促進、適正な料金施策等により、 <b>持続可能なサービスの達成を目指し、収支率は現状以上</b> を目指します。
------------	---	-----------	---	-----------	---

## 4. 将来ネットワーク

本市が目指す地域公共交通の将来ネットワークについては、民間事業者が運営する**鉄道軸、路線バス軸、及び一般タクシーによる面的交通を維持していくことを前提**とします。行政が提供する地域公共交通サービスについては、人口分布や利用状況を踏まえた内容の見直しを継続して図りつつ、**次世代につなぐ持続可能なサービスの提供**を目指していきます。また、市内外、世代などに関わらず、みんなが希望と誇りをもって過ごせるまちとなるようなネットワークとしていきます。



### 本市における交通手段別の役割分担

	位置づけ	モード	路線等	役割
公共交通 幹線	広域幹線	鉄道	近畿日本鉄道 JR西日本	地域公共交通ネットワークの骨格を形成し、広域的な観点から、生活、観光等の多面的な移動を支える。
	地域幹線	民間路線バス	奈良交通	地域公共交通ネットワークの第2の骨格を形成するサービスであり、市民の日常的な利用、市外からの観光需要等、市内の多面的な移動を支える。
公共交通 補完的な	面的交通		一般タクシー	きめ細やかな需要や、その他の手段で支えることのできない多様な移動を面的に支える。
	定時定路線型サービス	大和郡山市コミュニティバス		広域幹線・地域幹線に接続する支線として、住民生活に係る移動を支える。
	デマンド型サービス	住民参加型移動・ 外出支援サービス		地域の移動需要に対して、地域自らの力で支える。
			デマンド型交通	広域幹線・地域幹線を補完するサービスとして、それらの移動手段で対応できない移動需要を支える。